

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	文書理解Ⅱ (GB)	(TGB128)	
講義名 (コード)	TGB_文書理解Ⅱ_A	(TGB128A)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	槌谷 智子	時間数	30
成績評価教員	槌谷 智子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	日本語を使ったビジネスを行う上で十分な日本語力を養い、日本語能力試験N1の取得を目指す。
全体の内容と概要	N1の文字語彙文法を中心に学ぶ。試験形式と同様の4択問題を使い資格試験の対策をしっかりと行う。試験形式とは異なるが、語彙を書かせる問題にも取り組みしっかりとした定着を目指す。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	全体の内容を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：全体の内容 パワードリルN1文字語彙：第16回第17回
2	全体の内容を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：全体の内容 パワードリルN1文字語彙：第18回第19回
3	筆者の言いたいことを素早く把握する力をつける。	必修パターン：筆者が言いたいこと パワードリルN1文字語彙：第20回 集中トレーニング⑦
4	筆者の言いたいことを素早く把握する力をつける。	必修パターン：筆者が言いたいこと パワードリルN1文字語彙：集中トレーニング⑧ 第21回
5	縦書きなどの手紙にも慣れ親しむことができる。	必修パターン：連絡文 パワードリルN1文字語彙：第22回第23回
6	必要な情報を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：情報検索 パワードリルN1文字語彙：第24回第25回
7	必要な情報を素早く把握する力を身につける。	必修パターン：情報検索 パワードリルN1文字語彙：集中トレーニング⑨⑩
8	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：長文A unit1 パワードリルN1文字語彙：第26回
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙） パワードリルN1文字語彙：第27回
10	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙） パワードリルN1文字語彙：第28回
11	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：長文A unit1 パワードリルN1文字語彙：第29回
12	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：長文A unit2 パワードリルN1文字語彙：第30回
13	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：長文A unit2 パワードリルN1文字語彙：集中トレーニング⑪⑫
14		期末試験
15		期末試験 解説 & 追試

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターン読解N1 パワードリルN1文字語彙
参考文献・資料等	
備考	クラスの状態に応じて進度を変えることがあります。